



報道関係者 各位

2026年2月6日

取材のお願い

未来の栄養士 × 子育て最前線

「この柔らかさで合ってる？」を解消 離乳食を食べて学べる相談会を開催【2/17】

SNSではわからない"正解"を五感で確かめる 管理栄養士とゼミ生がサポート

学校法人松山東雲学園が運営する松山市地域子育て支援拠点事業「しのめ広場たんぽぽ」では、2026年2月17日(火)に「離乳食あるあるな悩み、一緒に考えましょう」と題した子育て相談会を開催します。

本学では10年以上にわたり、「しのめ広場たんぽぽ」にて離乳食相談会を開催してきました。昨年度の参加者から「適切な柔らかさや味付けを実際に食べて確かめたい」という声が多く寄せられたことを受け、今年度は初めて大学の調理実習室で本格的な調理実習を行います。

松山東雲短期大学食物栄養学科の曾我准教授（管理栄養士）とゼミ生が、参加者と一緒に離乳食を作りながら、乳児に必要な栄養についてレクチャー。動画やSNSでは確認できない「正解の柔らかさ・味付け」を、実際に見て、作って、食べて体感できる機会を提供します。「離乳食を嫌がる」「偏食が心配」といった日常的な悩みにも、その場で気軽に相談いただけます。ぜひご取材くださいますようお願い申し上げます。



◆ 社会的背景

近年、核家族化や地域コミュニティの希薄化により、子育てを孤独に担う「孤育て」が社会問題となっています。特に離乳食については、「何をどれだけ食べさせればいいのか」「食べてくれない」「アレルギーが心配」といった悩みを抱えながらも、身近に相談できる相手がいない保護者が少なくありません。

また、共働き家庭の増加により、離乳食づくりに十分な時間をかけられないという声も多く聞かれます。インターネットやSNSでは離乳食に関する情報が溢れる一方で、情報が多すぎるがゆえに何が正しいのか分からず、かえって不安が増すという状況もあります。こうした背景から、対面で専門家に直接相談でき、適切な柔らかさや味付けを実際に食べて確認できる場の必要性が高まっています。

◆ 実施概要

- イベント名： 「離乳食あるあるな悩み、一緒に考えましょう」
日 時： 2026年2月17日（火） 10：00～11：30
会 場： 松山東雲女子大学・松山東雲短期大学 D館2階 調理実習室
対 象： 「しのめ広場たんぽぽ」利用者
講 師： 松山東雲短期大学食物栄養学科 曾我准教授（管理栄養士）、ゼミ生3名
内 容： 乳児に必要な栄養についてのレクチャー・離乳食調理、
離乳食の悩み（食べない、偏食など）についての個別相談

参加者予定： 10組の親子（2/6現在で予約は定員に達しています）

※ 当日は、有資格者のスタッフ2名も同席し、参加者が調理や相談に集中できる体制を整えています。

◆ 期待される効果

- ・保護者が管理栄養士から正しい栄養知識を得ることで、離乳食に関する不安が軽減される
- ・適切な柔らかさや味付けを実際に食べて確認し、家庭での調理に自信が持てる
- ・同じ悩みを持つ保護者同士の交流により、孤立感が解消される
- ・学生にとっては、実践的な栄養指導とコミュニケーション能力を磨く学びの場となる

◆ 本学の子育て支援の取り組み

松山東雲女子大学・松山東雲短期大学は、地域に開かれた大学として、子育て支援に積極的に取り組んでいます。本学に併設する松山市地域子育て支援拠点事業「しののめ広場たんぽぽ」では、保育者養成・栄養士養成という本学の専門性を活かし、子育てについて相談、子育て情報の提供、子育て講習会の開催など利用者に専門的なサポートを受けられる環境を整えています。



松山市地域子育て支援拠点事業「しののめ広場たんぽぽ」

子育ての親と子どもが集い、出会い、学び合い、支え合う場の提供

対 象： 0歳（3ヶ月以上）～ 概ね3歳のお子さまとご家族

開催日： 月～金曜日（祝日・年末年始・お盆を除く）

時 間： 9：30～15：00

場 所： 松山東雲女子大学・松山東雲短期大学 内

Campus Map



取材いただける場合は事前にご連絡いただけますと幸いです。

【連絡先】 松山東雲女子大学・松山東雲短期大学 広報 担当：河淵（カワブチ）
電話：089-931-6211(代) Mail：kouhou@shinonome.ac.jp